当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2026年２月26日から2046年２月26日までです。	
運用方針	ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む世界各国の上場株式等（未上場株式※1を含みます。）※2のうち、主として量子技術に関連する企業へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※1国内外の取引所に上場されていない株式等（未上場株式または未登録株式のうち、金融商品取引法または会社法（平成17年法律第86号）もしくはこれらに準じて開示が行なわれているもので一般社団法人資産運用業協会規則に定める要件を満たすもの）とします。（以下同じ。） ※2国内外の上場株式に投資するほか、投資事業有限責任組合契約に基づく権利（金融商品取引法第２条第２項第５号、第６号に該当するものをいいます。以下同じ。）へ投資することにより、国内外の未上場株式または未登録株式に実質的に投資を行うことができます。（以下同じ。） マザーファンドにおける運用指図の権限の一部をニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに委託します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド	世界各国の上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とするとともに一部、投資事業有限責任組合契約に基づく権利（金融商品取引法第２条第２項第５号、第６号に該当するものをいいます。以下同じ。）へ投資することにより内外の未上場株式※1、※2にも実質的に投資を行うことができます。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 未上場株式または未登録株式への実質投資割合は、投資事業有限責任組合契約に基づく権利を通して投資している間接保有分を合算して、投資信託財産の純資産総額の15%以下とします。
分配方針	年２回、２月および８月の各月の26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

第１期

運用報告書（全体版）

ニュートン・量子技術関連株式ファンド（愛称　クアンテック）

【2026年８月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ニュートン・量子技術関連株式ファンド（愛称　クアンテック）」は、2026年８月26日に第１期決算を迎えましたので、設定以来の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
ホームページ　https://www.sbiokasan-am.co.jp

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
（設定日）	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2026年２月26日	10,000	－	－	392,588.4262	－	－	－	6,564
1期(2026年８月26日)	10,711	0	7.1	437,680.6998	11.5	96.9	－	29,646

（注）基準価額および分配金（税引前）は１万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
（注）MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）
（注）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。
（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

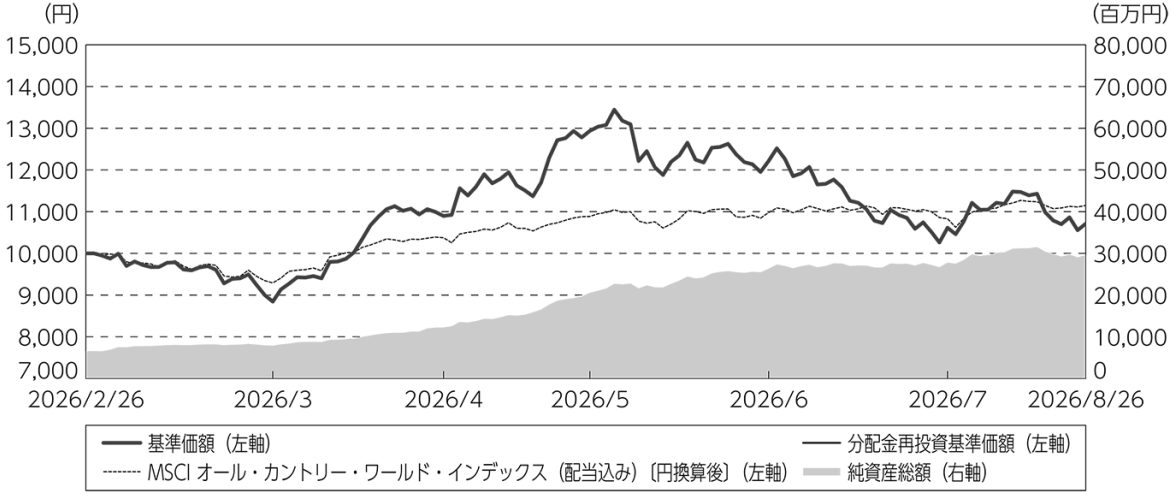
年月日	基準価額		MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
（設定日）	円	%	ポイント	%	%	%
2026年２月26日	10,000	－	392,588.4262	－	－	－
２月末	9,946	△ 0.5	390,955.0242	△ 0.4	87.2	－
３月末	8,843	△11.6	364,794.8385	△ 7.1	96.2	－
４月末	10,897	9.0	407,279.4497	3.7	97.3	－
５月末	12,937	29.4	427,358.3807	8.9	94.8	－
６月末	12,218	22.2	431,088.9383	9.8	96.7	－
７月末	10,614	6.1	425,161.9378	8.3	96.5	－
（期　末）						
2026年８月26日	10,711	7.1	437,680.6998	11.5	96.9	－

（注）騰落率は設定日比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2026年2月26日～2026年8月26日）



設定日：10,000円
期　末：10,711円（既払分配金(税引前)：0円）
騰落率：　7.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2026年２月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。（以下同じ。）

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

・データセンターおよびＡＩ事業部門が大幅な成長を遂げた米国のインテルや、クラウドコンピューティング事業の利益率が大きく改善した米国のアマゾン・ドット・コム、長期的な成長が期待されるエンタープライズ向けヘルスケア事業の売上高の伸びが好感されたスウェーデンのセクトラなどの株価上昇がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

・高成長株に逆風となる市場環境を背景に売り圧力が強まった米国のリゲッティ・コンピューティングや、これまで上昇してきた銘柄が全般的に調整するなかで割高なバリュエーションが嫌気された米国のラムバス、医薬品パイプラインに対する期待が後退した英国のアストラゼネカなどの株価下落がマイナスに影響しました。

投資環境

（2026年2月26日～2026年8月26日）

グローバル株式市場は、設定日から2026年３月にかけて、中東情勢の緊迫化を受けたエネルギー価格の上昇への警戒感から、インフレ再燃や金融引き締めの長期化に対する懸念が高まり、下落しました。その後は、米国を中心に企業業績が堅調に推移したことに加え、ＡＩ関連需要の拡大を背景に、半導体やソフトウェアを中心とするテクノロジー関連銘柄が市場を牽引し、株価は上昇基調を強めました。しかし、６月以降は、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のタカ派姿勢を受けて市場の利下げ期待が後退し、一部では利上げ観測も意識されるようになりました。また、ＡＩ関連企業による積極的な設備投資計画を巡り、投資回収の確実性や収益性に対する懸念も高まりました。こうしたなか、高成長期待を背景にそれまで大きく上昇していたテクノロジー関連銘柄の利益確定売りが優勢となり、市場では高ベータ・高バリュエーション銘柄から、財務基盤が強固で安定した利益成長やキャッシュフロー創出力を有する銘柄へ資金がシフトし、方向感に乏しい展開となりました。８月に入ると、金融政策に対する過度な警戒感が和らぐなか、再び企業業績などのファンダメンタルズへの注目が高まりました。業績成長を伴う企業が選好され、テクノロジー関連銘柄への見直しも進んだことから、グローバル株式市場は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2026年2月26日～2026年8月26日）

＜ニュートン・量子技術関連株式ファンド（愛称　クアンテック）＞

設定日以降、主要投資対象である「ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

○ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド

当マザーファンドでは、日本を含む世界各国の上場株式等（未上場株式を含みます。）のうち、主として量子技術に関連する企業に投資し、ファンドの成長を目指して運用を行いました。

量子技術に関連するハードウェア、ソフトウェア開発から部材供給、活用企業に至るまで技術分散とリスク分散を意識して銘柄を選定しました。

個別銘柄では、ポートフォリオの分散効果の向上およびバランスの改善を目的としたリバランスの一環として、株価の変動性が大きい量子専業企業のなかでも投機性が高いと判断したオーストラリアのサイレックス・システムズを売却しました。また、ファンダメンタルズ分析に基づきイスラエルのチェックポイント・ソフトウェア・テクノロジーズも売却しました。一方、光を使って量子情報を処理するフォトニック方式の量子コンピューティングを手掛けるカナダのザナドゥ・クアンタム・テクノロジーズや、原子（イオン）を使った量子コンピューターおよび量子ソフトウェアを開発する米国のクオンティニュアムなどを新規に買い付けました。

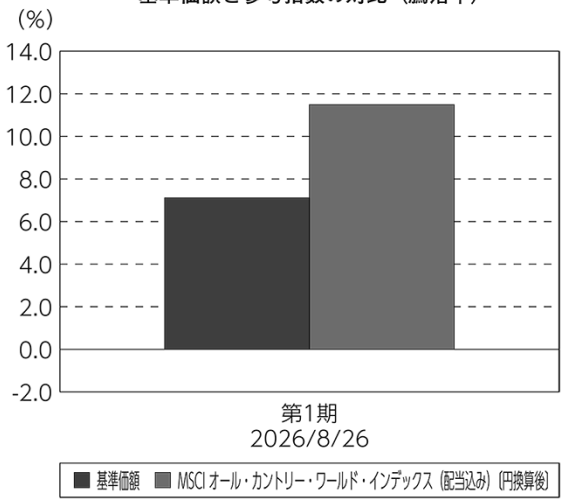
なお、組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2026年2月26日～2026年8月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

（2026年2月26日～2026年8月26日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項　　目	第１期 2026年２月26日～ 2026年８月26日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	710

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

量子コンピューティング市場は、長期的に数千億ドルから１兆ドル規模のグローバル市場へ成長する可能性があると考えられます。現時点では、ＡＩや暗号資産関連分野と比べて発展の初期段階にあるものの、今後数年にわたり高い成長余地を有する分野とみられます。量子コンピューティングは、理論研究を中心とした段階から実用化・商用化に向けた段階へと移行しつつあります。各国政府や大手テクノロジー企業による継続的な投資に加え、一部の分野では商用利用も始まっています。足元では活用規模は限定的ながら、金融、製薬、物流、材料開発などで実証実験や初期導入が進展しています。また、クラウド事業者による量子コンピューターへのアクセス環境の整備が進んだことで、企業が研究・検証に取り組むハードルは低下しています。さらに、金融モデリングや創薬、最適化計算などの分野では企業間の提携も広がっており、今後は金融、ヘルスケア、素材、サイバーセキュリティを含む幅広い分野で活用が拡大すると期待されます。このように、量子コンピューティングは依然として黎明期の技術であるものの、研究開発中心の段階から実証・活用段階へと着実に移行しており、中長期的な市場拡大が期待されます。

（運用方針）

＜ニュートン・量子技術関連株式ファンド（愛称　クアンテック）＞

主要投資対象である「ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド」の受益証券の組入比率は、高位に維持する方針です。ただし、資金動向、市況動向等によっては、組入比率が高位にならない場合があります。

○ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド

運用指図の権限の一部をニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに委託します。

運用にあたっては、日本を含む世界各国の上場株式等（未上場株式を含みます。）のうち、主として量子技術に関連する企業に投資し、ファンドの成長を目指して運用を行っていく方針です。投資にあたっては、量子技術に関連するハードウェア、ソフトウェア開発から部材供給、活用企業に至るまで技術分散とリスク分散を意識して銘柄を選定します。

なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2026年２月26日～2026年８月26日）

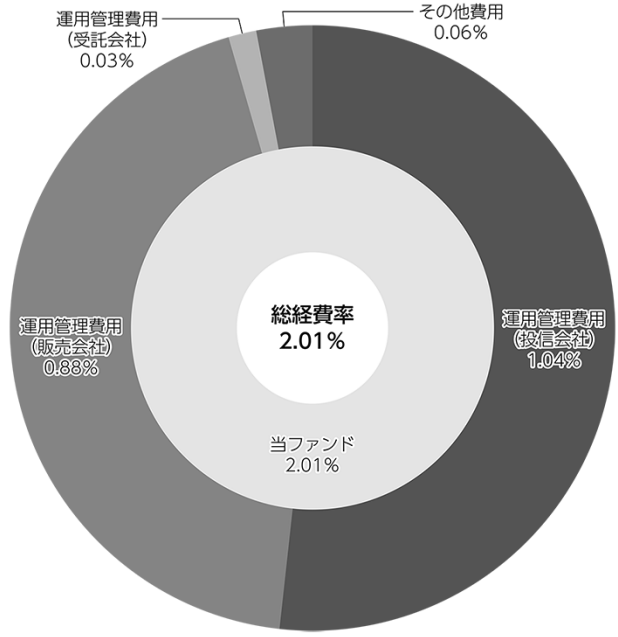
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	107	0.976	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(57)	(0.521)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(48)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.064	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(7)	(0.064)	
(c) 有価証券取引税	7	0.060	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(7)	(0.060)	
(d) その他費用	3	0.030	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	124	1.130	
期中の平均基準価額は、10,909円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年２月26日～2026年８月26日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド	27,621,319	30,993,000	397,800	434,000

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2026年２月26日～2026年８月26日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	34,121,669千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,153,780千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.11

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2026年２月26日～2026年８月26日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月26日現在）

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド	27,223,519	29,499,405

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年８月26日現在）

項　　目	当　　期　　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド	29,499,405	97.3
コール・ローン等、その他	831,177	2.7
投資信託財産総額	30,330,582	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）ニュートン・量子技術関連株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（26,985,007千円）の投資信託財産総額（29,933,900千円）に対する比率は90.1%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは１米ドル＝159.13円、１ユーロ＝185.78円、１イギリスポンド＝217.15円、１スイスフラン＝198.49円、１スウェーデンクローナ＝16.84円、１香港ドル＝20.30円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月26日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	30,330,582,687
コール・ローン等	397,168,223
ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド(評価額)	29,499,405,541
未収入金	434,000,000
未収利息	8,923
(B) 負債	684,371,200
未払解約金	503,299,287
未払信託報酬	179,859,436
その他未払費用	1,212,477
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	29,646,211,487
元本	27,678,760,573
次期繰越損益金	1,967,450,914
(D) 受益権総口数	27,678,760,573口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,711円

(注) 計算期間末における１口当たりの純資産額は、1.0711円です。
(注) 当ファンドの当初設定元本額は6,564,437,943円、期中追加設定元本額は21,851,675,205円、期中一部解約元本額は737,352,575円です。

○損益の状況　(2026年２月26日～2026年８月26日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	670,602
受取利息	670,602
(B) 有価証券売買損益	△1,052,410,226
売買益	18,423,919
売買損	△1,070,834,145
(C) 信託報酬等	△　181,071,913
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△1,232,811,537
(E) 追加信託差損益金	3,200,262,451
(売買損益相当額)	(　3,200,262,451)
(F) 計(Ｄ＋Ｅ)	1,967,450,914
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	1,967,450,914
追加信託差損益金	3,200,262,451
(配当等相当額)	(　11,007,194)
(売買損益相当額)	(　3,189,255,257)
繰越損益金	△1,232,811,537

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 当ファンドが投資対象としている投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用は54,813,509円です。
(注) 収益分配金

決算期	第１期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	1,967,450,914円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	－円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	1,967,450,914円
分配対象収益(１万口当たり)	710円
分配金額	0円
分配金額(１万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年４月１日)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年８月26日現在）

＜ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド＞

下記は、ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド全体(27,223,519千口)の内容です。

国内株式

銘柄		当期末	
		株数	評価額
		千株	千円
電気機器（100.0%）			
日本電気		223.1	1,042,100
富士通		283.4	1,053,114
合計	株数・金額	506	2,095,214
	銘柄数＜比率＞	2	＜7.1%＞

（注）銘柄欄の(　)内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注）合計欄の＜　＞内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

外国株式

銘柄		当期末 株数	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	業種等
（アメリカ）		百株	千米ドル	千円	
INTL BUSINESS MACHINES CORP		335	7,867	1,252,010	ソフトウェア・サービス
NOKIA CORP-SPON ADR		6,129	6,343	1,009,443	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
IONQ INC		1,492	6,274	998,439	半導体・半導体製造装置
KEYSIGHT TECHNOLOGIES IN		226	7,239	1,152,023	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
INFLEQTION INC		1,296	1,793	285,384	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AMAZON.COM INC		312	8,167	1,299,739	一般消費財・サービス流通・小売り
HONEYWELL INTERNATIONAL INC		337	7,275	1,157,686	資本財
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP		550	6,392	1,017,196	半導体・半導体製造装置
RAMBUS INC		632	5,679	903,780	半導体・半導体製造装置
FORMFACTOR INC		462	4,976	791,936	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP		179	8,814	1,402,712	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP		632	5,533	880,497	半導体・半導体製造装置
CISCO SYSTEMS INC		651	7,244	1,152,761	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
QUANTUM COMPUTING INC		6,226	5,267	838,170	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
D-WAVE QUANTUM INC		3,470	6,715	1,068,707	ソフトウェア・サービス
GLOBALFOUNDRIES INC		1,029	4,727	752,288	半導体・半導体製造装置
RIGETTI COMPUTING INC		3,794	6,428	1,022,995	半導体・半導体製造装置
QUANTINUUM INC-A		1,241	6,690	1,064,633	ソフトウェア・サービス
XANADU QUANTUM TECHNOLO-CL B		1,319	1,400	222,927	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL C		218	7,512	1,195,538	メディア・娯楽
SAMSUNG ELECTR-GDR REG S		11	5,559	884,737	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	30,551	127,905	20,353,612	
	銘柄数＜比率＞	21	－	＜69.0%＞	
（ユーロ…ドイツ）			千ユーロ		
INFINEON TECHNOLOGIES AG		973	5,340	992,213	半導体・半導体製造装置
ユーロ計	株数・金額	973	5,340	992,213	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜3.4%＞	
（イギリス）			千イギリスポンド		
OXFORD INSTRUMENTS PLC		1,464	4,108	892,115	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASTRAZENECA PLC		457	5,706	1,239,252	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BAE SYSTEMS PLC		1,333	2,798	607,721	資本財
小計	株数・金額	3,255	12,613	2,739,090	
	銘柄数＜比率＞	3	－	＜9.3%＞	
（スイス）			千スイスフラン		
HUBER + SUHNER AG-REG		244	4,021	798,184	資本財
小計	株数・金額	244	4,021	798,184	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜2.7%＞	
（スウェーデン）			千スウェーデンクローナ		
SECTRA AB-B SHS		1,262	34,873	587,261	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	1,262	34,873	587,261	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜2.0%＞	
（香港）			千香港ドル		
TENCENT HOLDINGS LTD		1,290	57,018	1,157,465	メディア・娯楽
小計	株数・金額	1,290	57,018	1,157,465	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜3.9%＞	
合計	株数・金額	37,576	－	26,627,828	
	銘柄数＜比率＞	28	－	＜90.3%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）邦貨換算金額欄の＜　＞内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
（注）株数・評価額の単位未満は切捨て。

ニュートン・量子技術関連株式マザーファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界各国の上場株式等（未上場株式※1を含みます。）※2のうち、主として量子技術に関連する企業へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 運用指図の権限の一部をニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに委託します。
主要投資対象	世界各国の上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とするとともに一部、投資事業有限責任組合契約に基づく権利（金融商品取引法第２条第２項第５号、第６号に該当するものをいいます。以下同じ。）へ投資することにより内外の未上場株式※1、※2にも実質的に投資を行うことができます。
主な投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 未上場株式または未登録株式への実質投資割合は、投資事業有限責任組合契約に基づく権利を通して投資している間接保有分を合算して、投資信託財産の純資産総額の15%以下とします。

※当ファンドは第１期決算を迎えていないため、開示できる情報はございません。